

国際ビジネス・コミュニケーション1

月曜4限・学部・2.0単位

中嶋 圭介

(Nakashima, Keisuke)

2015年6月29日 (Lecture 11)

神戸外大 2AV教室

今日のアジェンダ

- **Informational Interview**
 - クラス発表スケジュール

- **業界企業研究について**

クラス内プレゼン・スケジュール

- 7/6 カバーレター添削・チーム発表／報告打合せ
- 7/13 **Elf**(西日本鉄道), **Davis**(明治製菓)
- 7/20 **IBC**(蝶理), **jvívido!**(),()
- 7/27 (),()

インフォメーション・インタビュー・プレゼンテーション

□ チーム・プレゼンテーション

インタビューを終えたチームから順次、クラス内で結果報告のためのプレゼンテーションを行う。

持ち時間: 25分程度 (5~10分程度の質疑応答を含む)

形式: 強制ではないが、できる限りパワーポイントを使用

使用言語: 日本語 (希望する場合、英語も可。加点あり)

内容: 少なくとも、以下の4つの内容をカバーすること

1. 訪問先の検討、特定、アプローチの仕方
2. 訪問前の事前準備 (業界・企業研究)
3. 当日のインタビューの内容・様子
4. 当日の面接内容やインフォメーション・インタビューを経験して学んだこと、考えたことなど

クラス評価の方法・基準: 出席(30%)、提出課題 (20%)、Informational Interview の結果報告 (クラス内でのプレゼンテーションと報告書、各25%) によって評価する。学期を通してチーム・リーダーを務めた者は、追加 (2%) 評価点を与える場合がある。

インフォメーション・インタビュー結果報告書

□ 提出課題(チーム)

インタビューを終えたチームから順次、結果報告書を作成、提出。

分量： A4用紙、シングル・スペース、3枚以上～4枚以内

書式： MSワードファイル、昨年の書式を参考、写真・その他の資料可

内容・ クラス内でのプレゼンを書面化したもの

1. 訪問先の検討、特定、アプローチの仕方
2. 訪問前の事前準備(業界・企業研究)
3. 当日のインタビューの内容・様子
4. 当日の面接内容やインフォメーション・インタビューを経験して学んだこと、考えたことなど(各メンバーの氏名付きで)

チームリーダーよりメールにて提出

提出締め切り： 8月3日(月) 午後10時

E-mail: info@knakashima.net

業界企業研究について～鉄道業界を例として～

□ 業界全体図の把握と対象業界の限定

国内 or Not?
鉄道運営会社 or Not?
旅客 or Not?

□ 業界規模の推移や大手企業シェアの把握

□ 業界を取り巻く最近のホット・トピックを特定

ビジネス環境変化に着目・・・人口高齢化、社会・ライフスタイル変化、経済のグローバル化など
新商品、サービス、技術動向などに注目・・・LCC、リニア、ななつ星

□ 5年後、10年後の業界・企業の見通し情報収集

□ プラス見通し達成、マイナス見通し打破に必要な人材資質について情報収集、考える

参考資料

就活業界研究本etc.

就活業界研究本その他、ウェブ・ビジネス誌上の専門機関(家)情報

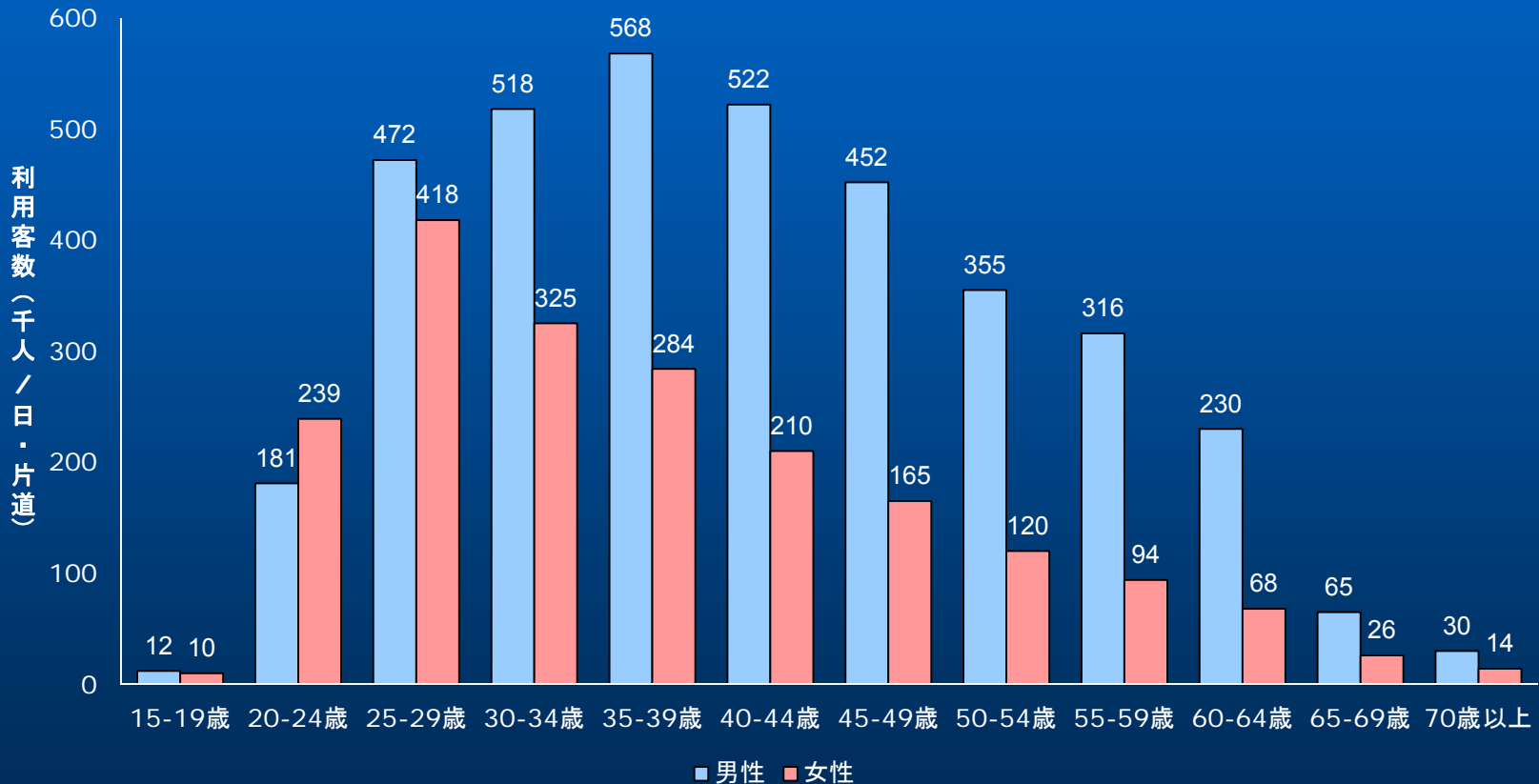
新聞・ビジネス誌の特集記事、TVの特集番組etc., 深堀したい場合は経済・経営学者の論文

前出特集記事の専門家分析や経営者コメント, 経済・経営学者論文

→ インフォメーション・インタビューで足りない部分を質問し、キャリア形成の視点と重ね合わせていく。

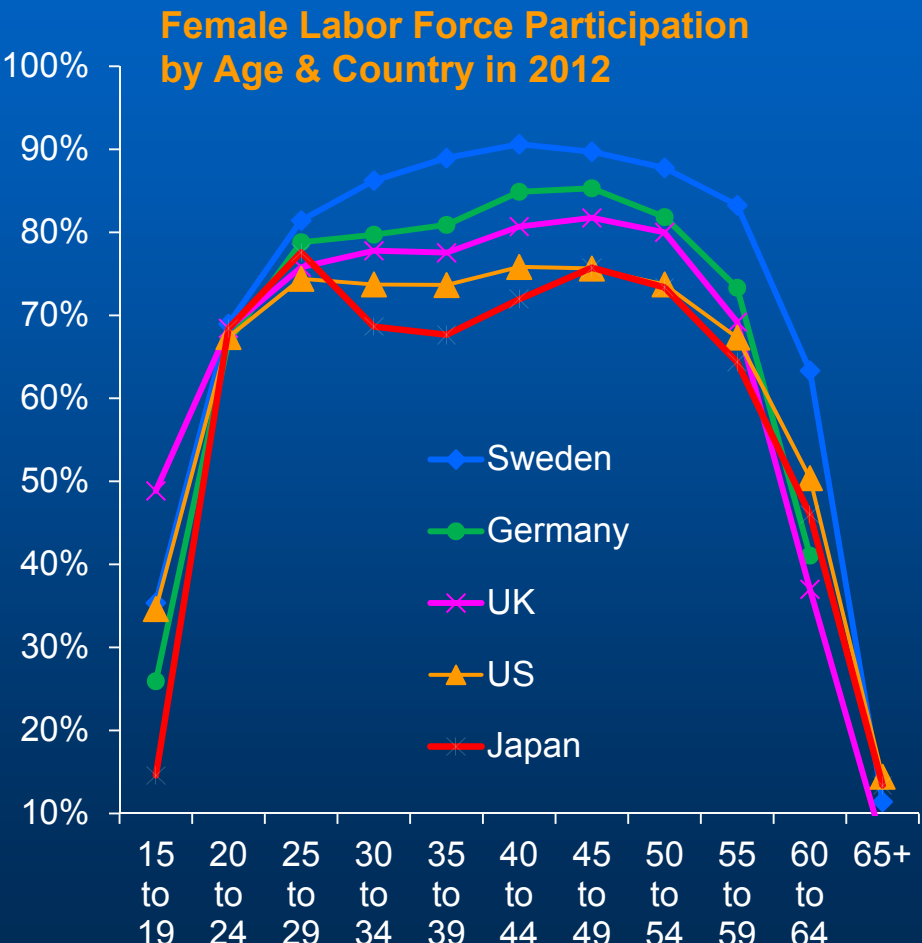
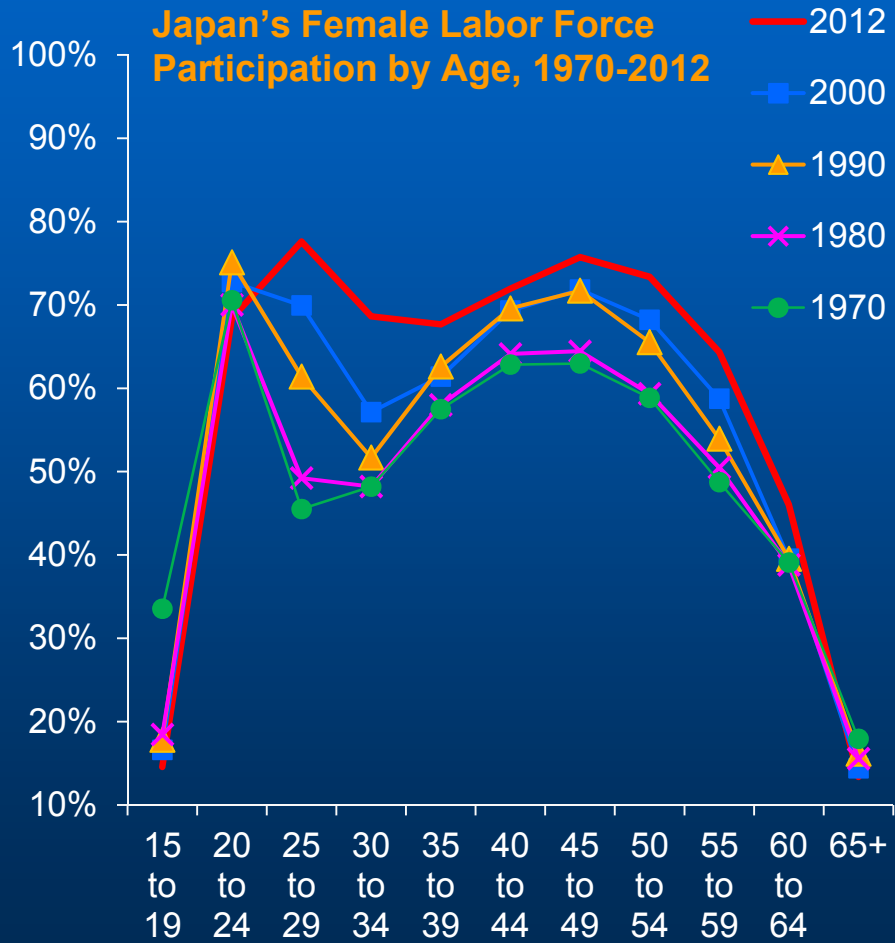
業界企業研究について～鉄道業界を例として～

性年齢別・利用者数(通勤・定期券利用者、首都圏全体), 2010年



(出所)国土交通省 大都市交通センサスのデータを基に、杉村麻佑が作成

Japan's "M-shape" female labor force participation has been improved, but it still lags behind other developed countries.



Source: OECD.stat